



# 都会のカラス

## ～その被害と私たちにできること～

都会ではカラスと人間との間で様々な摩擦が生じています。

私たちの生活様式がカラスの増加を招いた主な原因です。

具体的にどのような被害が起きているのでしょうか。

私たちはどう行動すべきなのでしょうか。

カラスとの関係を見直してみましょう。

# カラスとは どんな鳥？

通常、都会でカラスと呼ばれている鳥にはハシブトガラス、ハシボソガラスの2種があります。どちらも1年中、国内で見られます。

繁殖期は3～7月です。高木の上層部の幹と枝の間や太い枝の上に、枯れ枝を積み重ねて巣を造ります。ヒナは6月前後に巣立ちますが、しばらくは親鳥に養われています。夜間は高木林に集まってねぐらをとることが多く、その規模は冬期に大きくなるようです。

ハシブトガラスとハシボソガラスはよく似ていますが、以下のようないがります。また、都会で生ゴミを食べているのは、ハシブトガラスがほとんどです。



## ハシブトガラス

姿	くちばしが太く、額が出っぱって見える
鳴き声	「カアー、カアー」と澄んだ声
生息環境	山地の森林にすむが、近年都会に増えている

## ハシボソガラス

くちばしが細く、額がなだらかに見える
「ガアー、ガアー」と濁った声
農耕地や河川敷のような開けた環境に多い

## カラスの食物

雑食性で木の実や小動物、動物の死骸、生ゴミ、他の鳥の卵やヒナなどいろいろなものを食べます。カラスが増えすぎることにより、捕食圧が高まり、他の生き物の生息に影響を与えることがあります。



●生ゴミ



●小動物・昆虫など



●ほかの鳥類の卵やヒナ



●カキ、ビワ、クルミなどの木の実

# カラスによる被害

都会ではカラスの数が増えた結果、人との間で様々な問題が発生しています。代表的な例を紹介します。



## ゴミの散乱

カラスはゴミ集積所などに集まり、ゴミ袋を破いて生ゴミを食べ散らかします。散らかったゴミは、まちの美観を損ない、ゴミ収集業務にも支障をきたします。



## 糞・鳴き声

ねぐらやその周辺のようにたくさんのかみが集まる場所では、糞で建物などが汚されます。また、早朝から活動するため鳴き声がうるさいといった問題が発生しています。



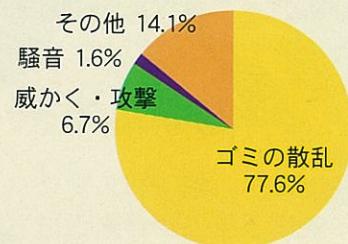
## 威かく・攻撃

繁殖期の巣に過度に近づくと、威かくや攻撃をされることがあります。特にヒナの巣立ちの時期（5～6月）に攻撃行動が激しくなります。

## なぜ都会でカラスが増えたのか

雑食性のカラスにとって、私たちの出す生ゴミは格好の食物です。都会でカラスが増えた原因は、生ゴミなどの食物の供給が豊富であること、街路樹や電柱など巣づくりできる環境が存在することがあげられます。カラスはビルが林立する都会の立体的構造を本来の生息地である森林のように認識しているとも言われています。このように、カラスは都会の環境に順応しながら増加したと考えられます。

カラスの苦情・相談内容（1991～1992）



出典：環境庁

# カラスによる被害を防ぐには...

## ゴミの出し方を工夫する

ゴミの出し方を工夫することは、ごみの散乱を防止するだけでなく、長期的にはカラスの増加を抑えることができる考えられます。

### 生ゴミを減らす

カラスにとって生ゴミは食物です。生ゴミを少なくする工夫をしましょう。



### 収集時間を守って出す

前日の夜や早朝にゴミを出すと、放置する時間が長くなり、カラスに荒らされる可能性が高くなります。ゴミを出す時間をしっかり守りましょう。

### 生ゴミを見えないようにする

カラスは主に視覚で食べ物を探すので、紙に包むなど外から見えないようにすると被害を減らせます。

